

2022年12月15日 町田市医療と介護の連携支援センター

学んでみよう！！「高齢視覚障害者のリハビリの可能性と視覚リハ専門家（歩行訓練士）の出来ること」

視覚障害リハビリテーション協会

吉野由美子

自己紹介

- 私の年齢は75歳
- 先天性白内障による視覚障害（ロービジョン《弱視》）
左0.1 右0.02（矯正視力）と大腿骨の発育不全
による肢体障害（身体障害者手帳3級・要支援2）
- 福祉系の大学・大学院を卒業し、障害者福祉論などを
大学で教えてきた。ライフワークは、視覚障害リハ
ビリテーション）の普及活動。40年以上続けている。



視力による見え方の違い



私の例を取ると
左目視力0.1の見え方、
右目視力0.01の見え方
が近いが、近視の見え
方とは全然違う。ピント
が合わないという見え
方ではない。

引用url

<https://search.yahoo.co.jp/image/search?rkf=2&ei=UTF-8&p=0.2%E3%81%AE%E8%A6%8B%E3%81%88%E6%96%B9>

見えにくくて肢体障害がある当事者の私と 視覚リハの専門知識を持つ私と

- 介護認定 要支援2
- 68歳の時第5腰椎の圧迫骨折
- 長い距離の移動には電動車椅子
- 2017年7月15日より身体のリハビリのため介護保険で運用されているデイサービス施設に通所開始(週2回)
- デイサービス施設を利用する中で、介護保険サービスでは視覚障害者に対するケアが正しくおこなわれていないことを痛感した。



今日のお話の狙い

- 視覚障害者についての間違った固定観念の払拭
- 視覚リハビリテーション(ロービジョンケア)とはなにか
- 視覚リハ専門家(歩行訓練士)とはどんな専門家なのか
理解を深める

(第2回後の歩行訓練士についての質問に答える)

- 視覚リハサービスと障害者福祉サービスとの併給について
- 視覚リハ専門家との連携の重要性とその作り方

視覚障害者に対する誤った
イメージを払拭する

視覚障害者は数が少ないは間違い

- 我が国では、5年に1度国勢調査に合わせて身体障害者の実態調査を行っている。
- 2016年度の国の調査によると
視覚障害の身体障害者手帳取得者
31万2000人と推計（障害者全体の約7%）
- 内65歳以上の高齢視覚障害者が約69%
- 18歳未満5,000人
- 超少子化超高齢化

身障手帳所持が障害者数を反映しない

- 視覚障害者とは、見えない・見えにくいために日常生活に困っている者をいう
- 身障手帳取得の目的は、福祉サービスをうけるため
→他のシステム（例えば介護保険）でサービスを受けている人は「視覚」での手帳を取得しないことが多い
- 手帳取得基準が厳しいと困っていても手帳取得できない
- 支援者の考える視覚障害者とは、見えない・見えにくいことで日常生活に支障を来している人のこと

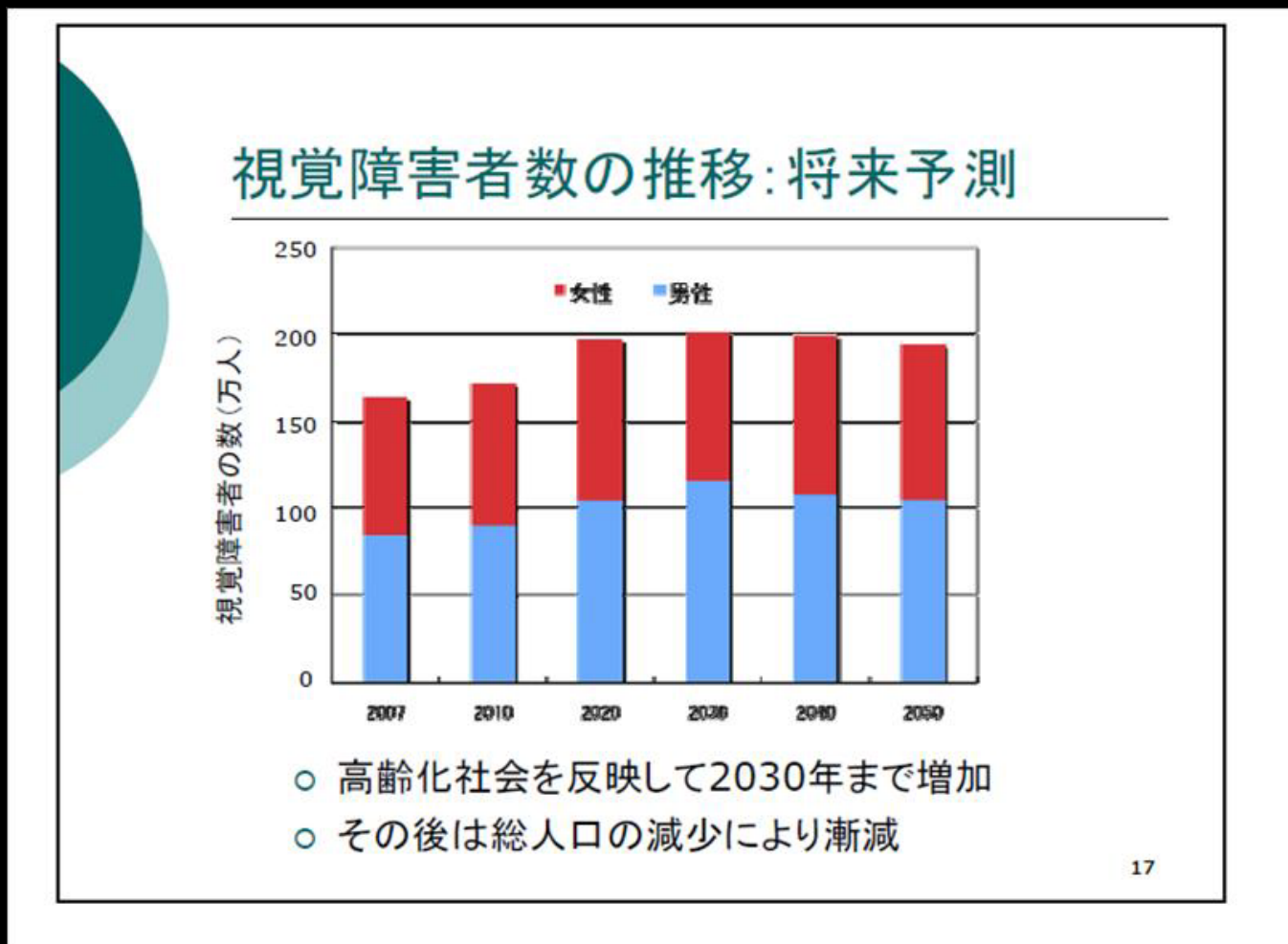
2009年に日本眼科医会の 研究班が行った調査による推計

アメリカの視覚障害の定義を使って分析

- ロービジョンとは、良い方の眼の視力が0.5以下 0.1以上
- 失明(社会的失明) 良い方の眼の視力が0.1以下
- 視覚障害 ロービジョン+失明
- 失明(社会的) 188,000人
- ロービジョン(弱視) 1,449,000人
- 合計 1,637,000人
- 年齢別に見ると70歳以上半数、60歳以上が72%

視覚障害者の推移・将来予想

(上記研究からの引用)



2030年には視覚障害者数は200万に達すると推計

まだまだ一般に認識されていない
幼い頃から(先天を含む)の
視覚障害者と中途視覚障害者の
ニーズの違いについて

視覚障害の原因

1960年代ぐらいまで

- 栄養失調
- トラホーム
- 細菌性の感染症によるもの
(はしかや先天梅毒など)



- 幼い頃からの障害

最近ワースト5と見なされている原因

- 緑内障
- 糖尿病網膜症
- 網膜色素変性症
- 加齢性黄斑変性症
- 脳血管障害によるもの



- 人生の半ばでの障害
- 全体の8割以上が中途
視覚障害者

幼いころ(先天も含む)からの 視覚障害者

- 幼い頃からの人は、眼以外の感覚器を使用することを学びながら発達する。
- 視覚障害者として生きていくための様々な方法を盲学校などでの教員・先輩や仲間の視覚障害者から学ぶことができる。



- 見えない・見えにくいことは沢山の困難があるがそれ乗り越えるための力を身につけている。

中途視覚障害になると

- 視覚はあまりにも便利すぎる情報入手器官
- 外界の情報の8割から9割は視覚から入手
- 人間は、視覚的動物であると言われている。
- そこで、人生の半ばで失明したりロービジョンの状態になったら、とにかく絶望的なショック状態となる。



- 8割以上の中途視覚障害者は自殺を考えると
言われている。

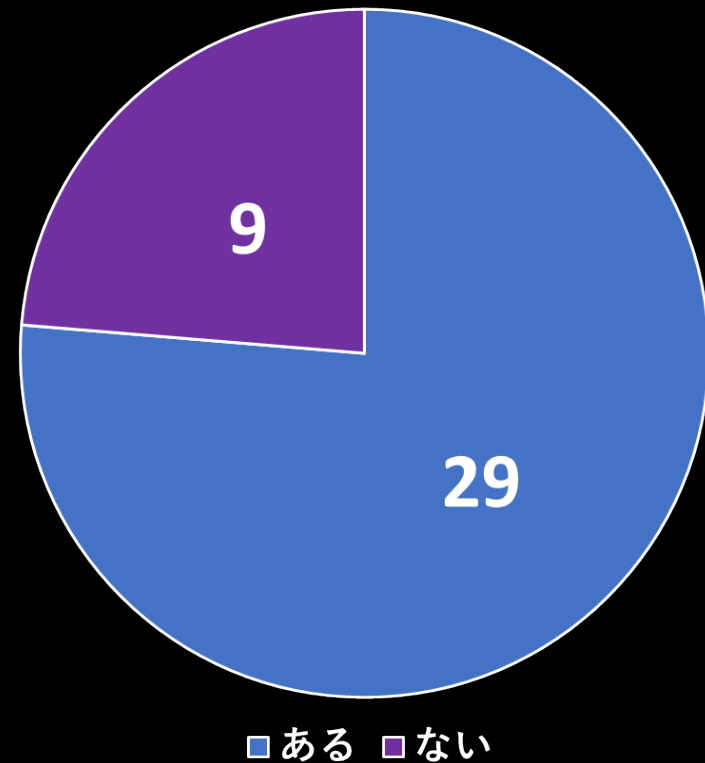
小括(視覚障害者の誤ったイメージ)とは

- 視覚障害者は数が少ない
- 見えない・見えにくいことで困っている人は150万人を超える
- 幼い頃からの視覚障害者→教育などの発達支援
中途視覚障害者→視覚リハビリテーション
- 視覚障害者と言っても大変多様で一人一人違う
皆さんがたまたま出会った方は、多様な視覚障害者の一人に過ぎない

皆さんへのアンケートから(ケアマネ限定)

- 講演させていただく度に同じようなアンケートをお願いしている
- 集計結果は概ね類似している
- 視覚障害のあるケースを担当したことがあるのは、29人
- 持ったことがあると言っても一人二人以上持った経験のある方はほとんどいない。
- 自分の担当したケースが視覚障害者の代表となる例が多い。

過去・現在を通して、視覚障害のあるケースを担当したことがありますか。



視覚リハビリテーションとは
リハビリテーションの定義
視覚リハビリテーションの考え方
専門家（歩行訓練士）とは
養成の経緯
視覚リハ専門家が出来ること
訓練・啓発活動・環境改善

リハビリテーションとは（澤崎先生）

障害を負った人がその人らしく生きるためのあらゆる手段を含む

- 機能訓練
- 職業訓練
- 生活訓練
- 社会制度の活用など社会生活力の向上
- 環境整備

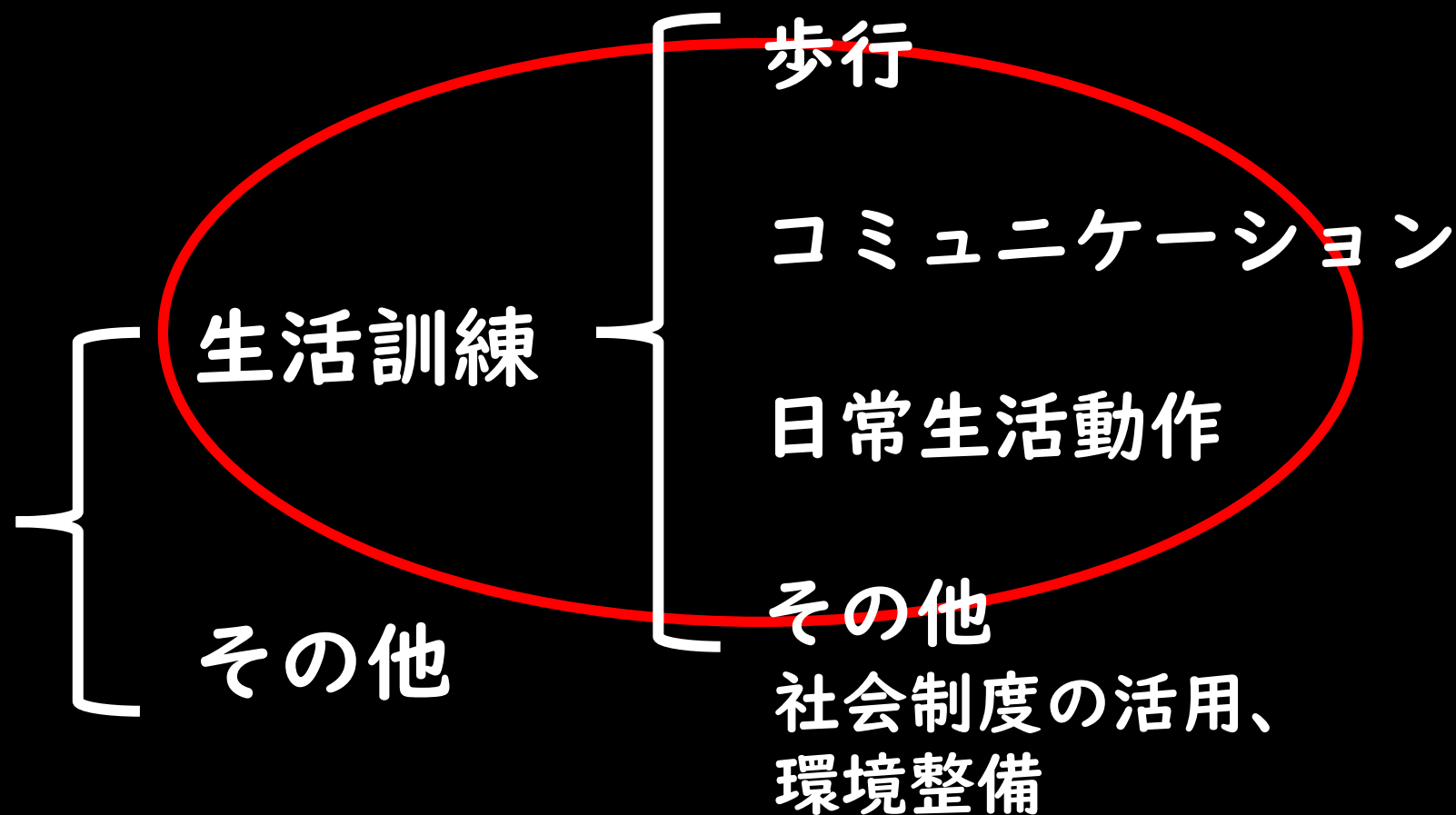
視覚リハビリテーション

医学リハビリ

教育リハビリ

職業リハビリ

社会リハビリ



視覚(障害) リハビリテーションとは

「基本的には障害を受ける以前、すなわち晴眼時（正常に見えていた時）に獲得した多くの知識等を含む能力をベースにし、そこに若干の新たな能力を付加して、新しい行動様式を再構成していくこと」

芝田裕一編著「視覚障害者の社会適応訓練」から引用

視覚以外の他の感覚を使って生きられることに 気づいてもらうことが第一歩

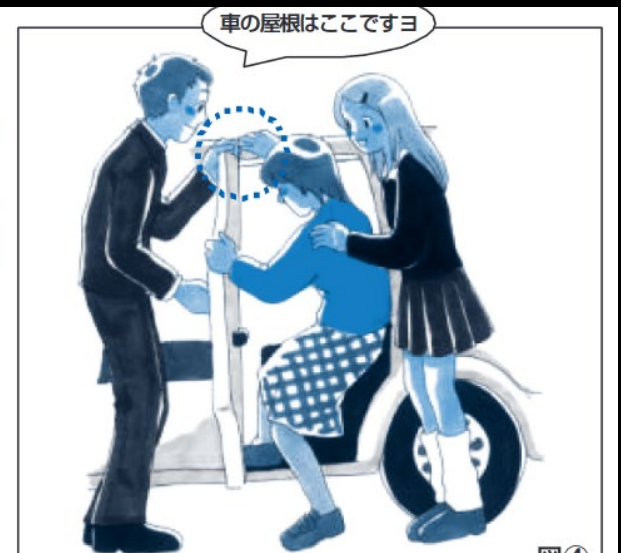
失明して退院する方が車に乗って帰宅する時に、看護師さんが、下記の図のように、車のドアと屋根に触らせてくれて、乗り込めるように指導してくれた時、「あ！見えなくてもこうやって工夫すれば生きていける」と気がついた。それで生きる気力がわいてきた。
(自殺まで考えていた中途失明者からの話)

椅子に座るとき
片手を背もたれに触れてもらいます。
テーブルがある場合はもう片方の手でテーブルに触れてもらいます。



車の乗り降り

- ・車に乗る時は、ドアや屋根、座席に触れてもらい、車高や座席の位置を確認してもらってから乗車してもらうとよいでしょう。降りる時は介助者が先に降り、下車する場所の足元の安全を確認してください。(図④)



視覚リハビリテーションの目的(年齢別)

(吉野の考え方)

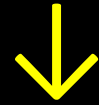
- 視覚を使わなくとも、あるいは見えにくくなっているとしても、生きていけると言う事を、簡単な事で、本人に自覚を持ってもらって、失った自信を取り戻してもらう事
- 若年層では、学校への復学・復帰
- 中高年では、職業復帰・社会的な役割を果たせるようになること
- 高齢視覚障害者では、今まで生きて来た生き方を継続して、生きがいのある人生を全うする

なぜ視覚リハとその専門家は
一般に知られていないのか
我が国における視覚リハ導入の特殊性
(眼科医が視覚リハを知らない、
医学的リハビリテーションが抜けている)

視覚リハの成立過程

- 欧米で失明軍人のリハビリテーションのために体系化
- 我が国には1960年代後半に考え方が輸入された
- 1970年初めに「日本ライトハウス」が海外から講師を呼び歩行訓練士の養成をはじめたが、養成の対象者は、既に視覚障害関連福祉施設・盲学校に勤務している方に限られた。その現任研修的な考え方は、今でも根強く続いている
- 既に失明し、眼科医療の手を離れた方を対象にしていたこと、視覚リハの方法論は、全盲で単独の視覚障害者を対象として発展したこと等により、眼科医も歩行訓練士を知らないケースが現在でも多い。

医療とかけ離れた所で発展



医療の支援を受けられない



国家資格ではない



リハビリテーションの輪から外れ、
介護保険制度にも取り込まれていない

1.歩行訓練士が出来ること
(第2回の澤崎先生のスライド例示)

2.環境改善へのアドバイス例

視覚(障害)リハビリテーション専門職

ここでは歩行訓練士を中心に話す

- 名称 視覚障害者生活訓練等指導員(歩行訓練士)
現在全国で約500人程度実働
- 資格 認定資格
2カ所の養成施設で大学卒業後2年間の教育を受ける
- 名称 視能訓練士
- 資格 国家資格
通常は眼科で視力や視野検査などを担当 ロービジョン
ケアについては、それを専門としている人はまだごく少数

視覚リハ専門家としての歩行訓練士

歩行訓練士は、

- ①移動(外出時や室内での移動)
- ②文字の読み書き(コミュニケーション)
- ③その他日常生活に関すること(食事、家事など)

これらの困りごとの原因と解決法の知識を持つプロ



触って、聞いて物事を理解してもらうプロ

補装具や日常生活用具は
紹介するだけでは使えない
訓練が必要

プレックストーク、録音図書



録音図書が聞けるようになるまで

高齢視覚障害者が使いこなせるようになるには

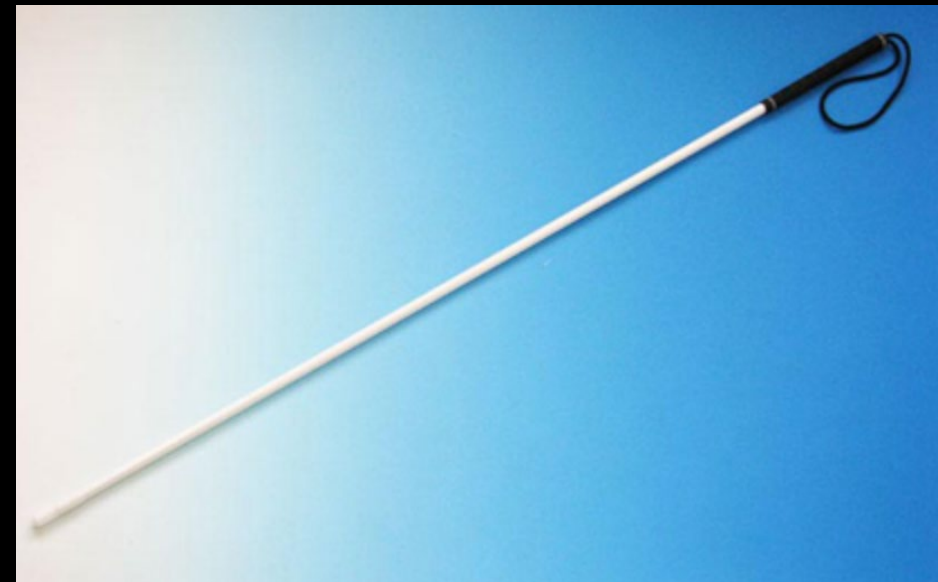
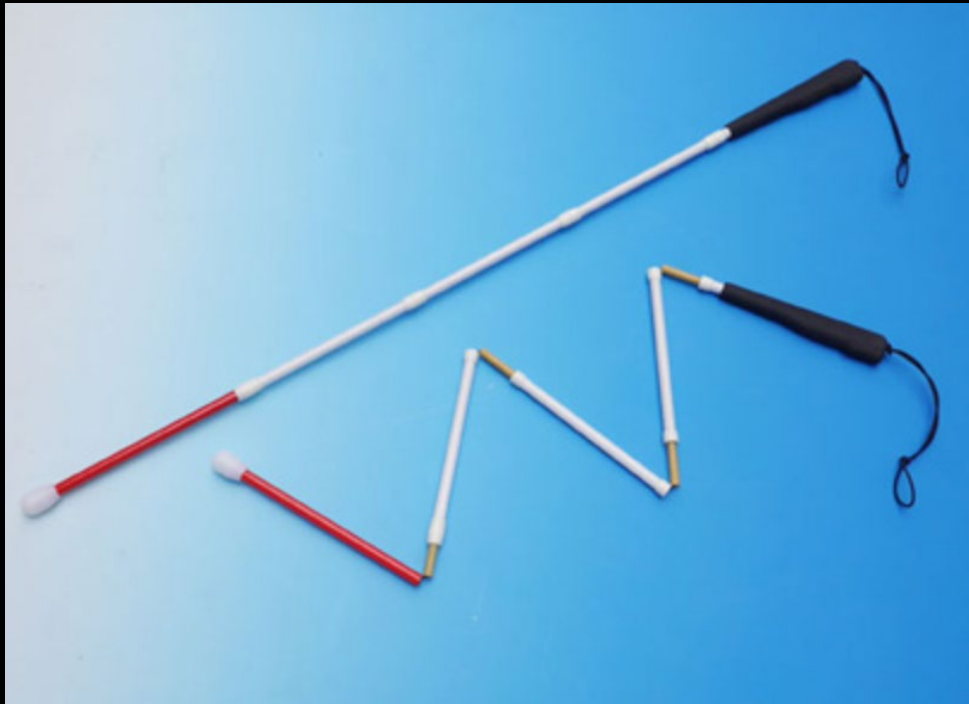
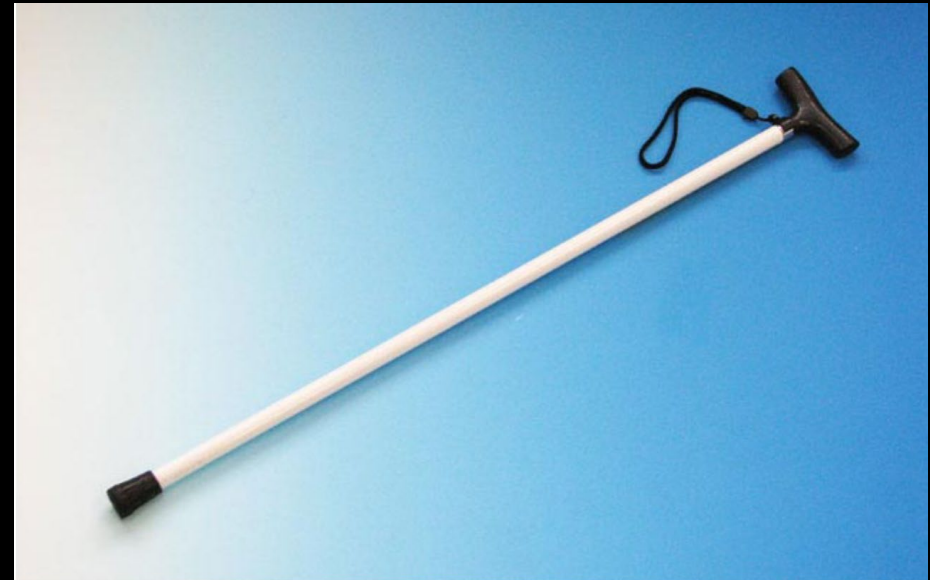
- プレックストークを触ってもらって、スイッチの位置などを確認
- 電源の入れ方切り方を覚える
- CDの出し入れの仕方を覚える
- 再生の仕方、停止の仕方を訓練する



歩行訓練士が訪問訓練で週に1回、1ヶ月程度かかることも珍しくない。

白杖

歩行訓練士が本人に適した物を選定するのが望ましい。



ルーペ



第51800号 【明治5年創刊】明治25年3月8日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社

MAINICHI 新毎日

1月22日(水)
2020年(令和2年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

マイナビ
バイト
0120-726-728

NEWSLINE
政府の震災追悼式 区切り

就学不明法令でも対応

外国籍の子、国が関与

文科省報告書案

日本に住居を設ける外国籍の子も約2万2000人が、小中学校に通っているから分らない「就学不明」になっている問題で、文科省は21日、検討すべきだ」とする報告書骨子案をまとめた。外国籍の子ともは義務教育の対象外で、これまで対応が自治体任せにされてきたが、法的な根拠をつくって国が関与することを要望した。

【奥山はるな、堀智行】

骨子案では、国や自治体、支援環境の改善▽就学状況の把握と促進――など5本の

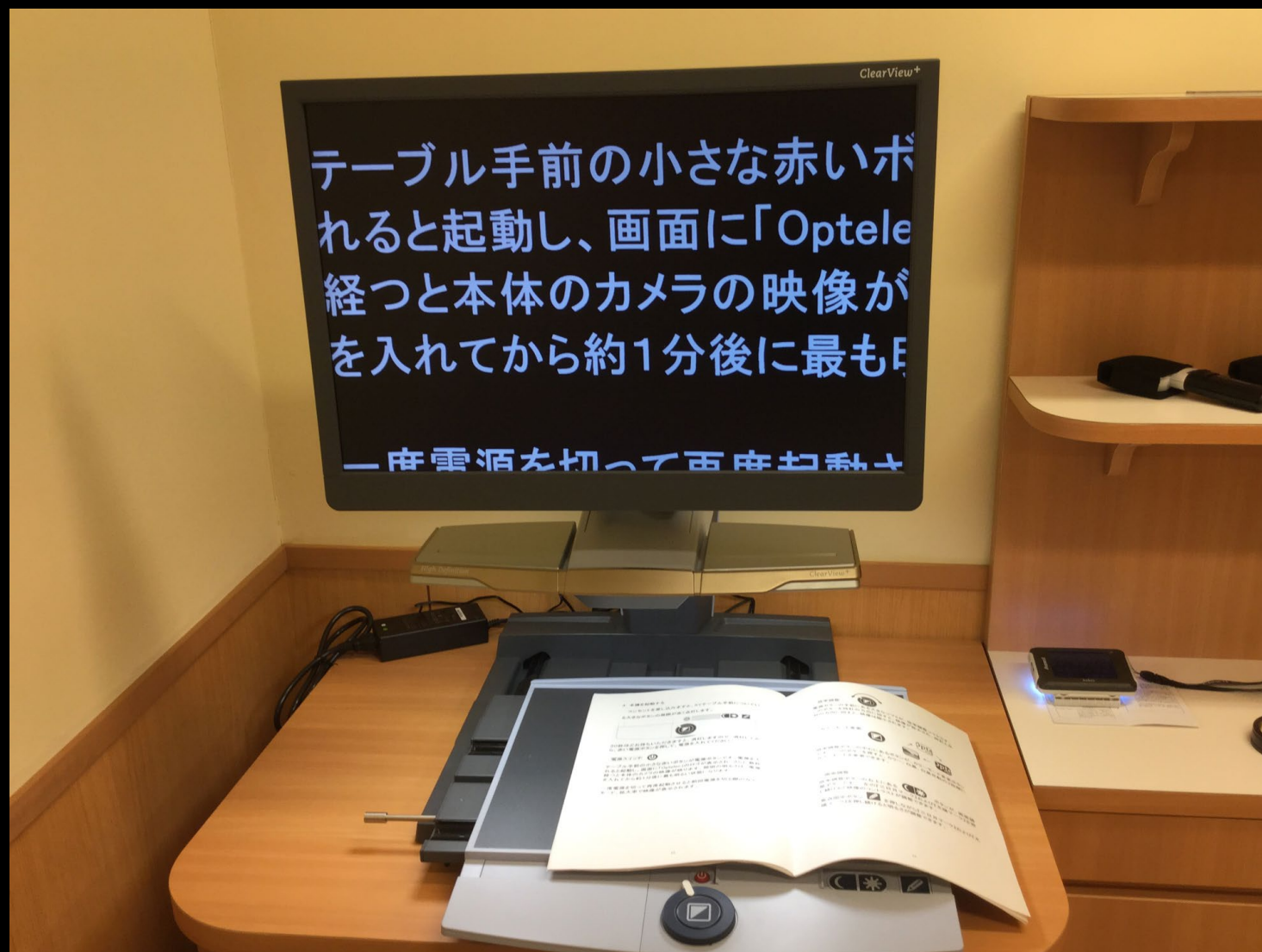
比率が日本人より高いことを念頭に、同学級の在籍者

外国からきた子どもたちの連携などを示した。また、国にも一定の関与

にほんで
いきる

拡大読書器

画面上に読みたい場所をきちんと出すためには、下のテーブルを動かすトレーニングが必須



工夫すると高齢視覚障害者の 日常生活が豊かになる事例

事例1：階段の工夫（歩行）

段差部分にペンキやテープでコントラストを付ける



ご自身でされていた工夫
(ペンキで塗る)



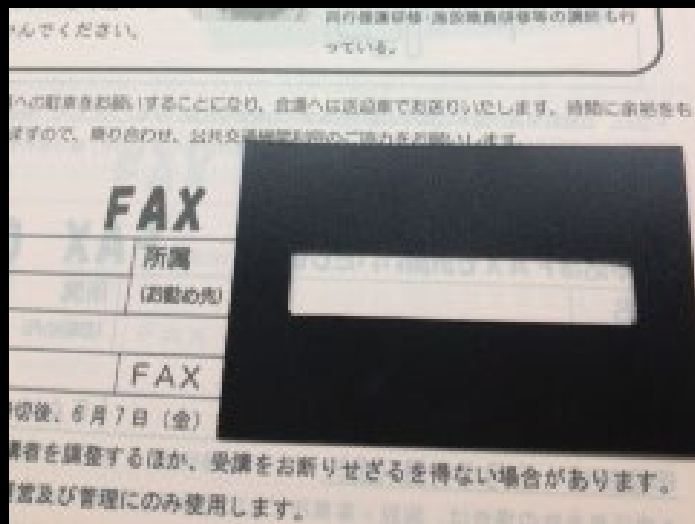
ご自身でされていた工夫
(テープを貼る)

事例2：柱等の保護（歩行）

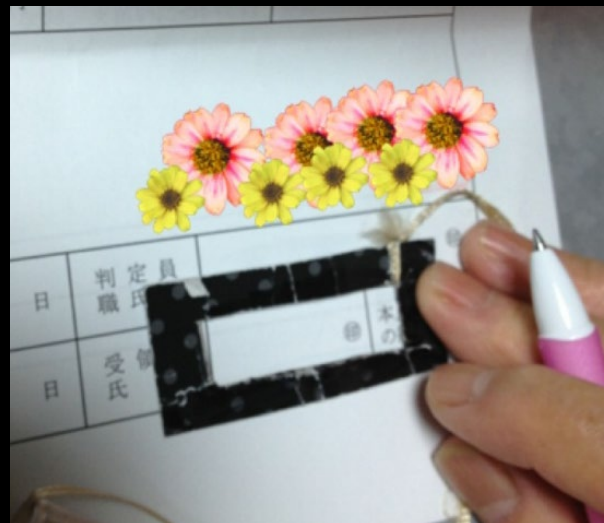


クッションシートもコントラストがあると
目で見えて障害物の存在がわかる!!

事例3: 文字を書く(コミュニケーション)



サインガイド



手作りサインガイド



ハガキ用

「何年も行けなかった選挙に行きたい!!」
「これがあれば年賀状が書ける!!」

事例4：ぬり絵（コミュニケーション）



【デイでの作業(90代 女性)】

- ・鉛筆立てに立てられた色鉛筆
- ・共同での使用

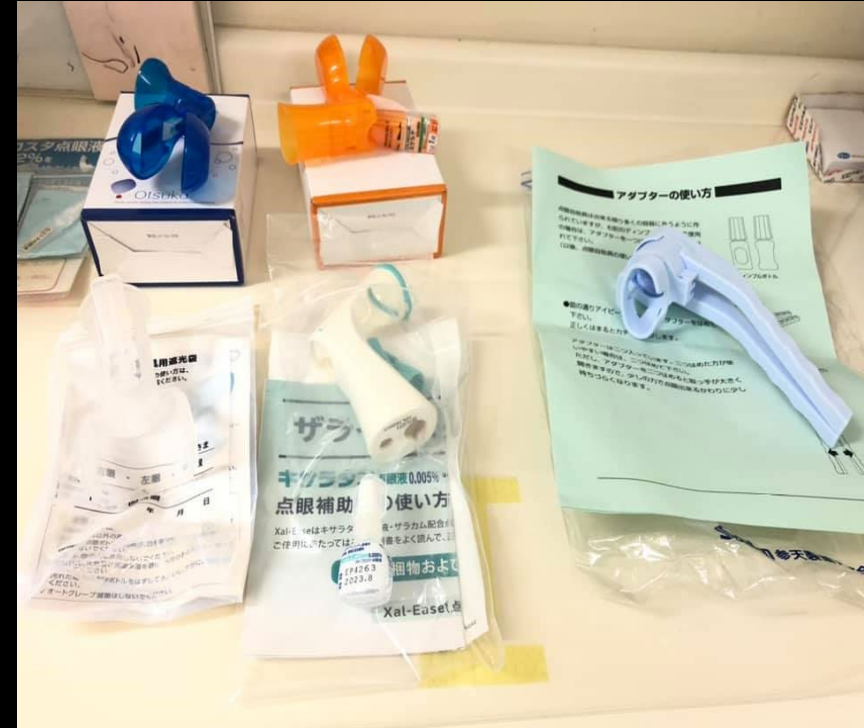


- ・トレーに出す工夫
- ・その方専用の道具
- ・色の名前を書いた紙を貼る
- ・塗り絵は、できるだけ線の太いもの
- ・どんな構図か説明をする
- ・老眼鏡の使用

薬局に点眼支援グッズが



麻痺があったり握力が出ない方の
ための点眼支援グッズ



メーカーが薬局に無料配布している
5種類の点眼支援便利グッズ

小括

- 視覚リハビリテーションとは、視覚以外の他の感覚からの情報をフルに使って、生きて行けることを当事者に体得してもらうこと。(見えないから出来ない→見えなくても出来るに置き換える技)
- 視覚リハ専門家は、視覚以外の様々な手がかりを駆使して、また、残った視機能と視覚以外の手がかりを活用して生きて行くことを教える専門家

視覚リハのサービスは、
介護保険サービスにはないので
介護保険と障害者福祉サービスの
併給の後押しを皆さんに

視覚リハのサービス＝障害者総合支援法 でのサービス

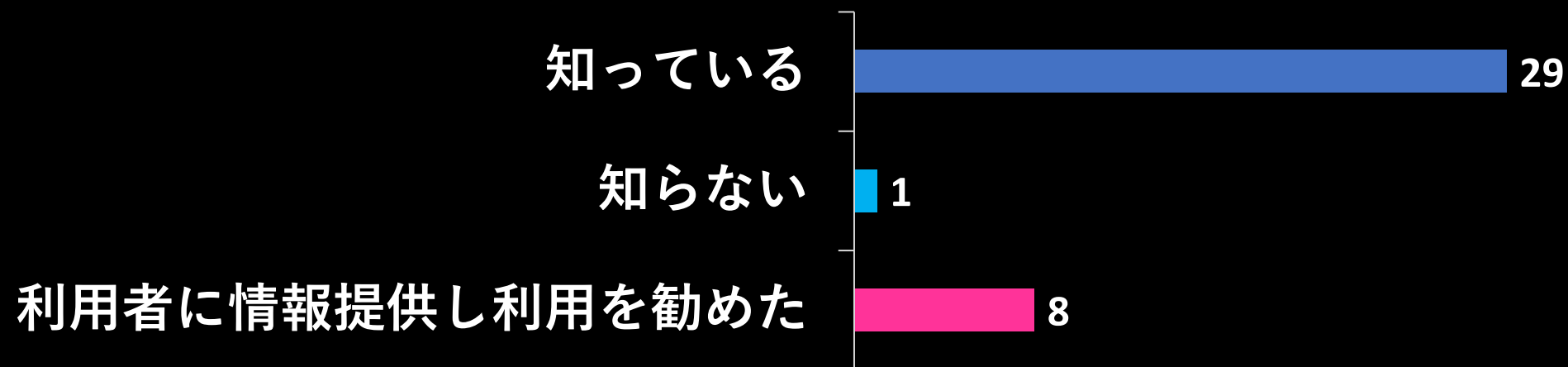
- 視覚リハのサービスの代表的なものは
同行援護で外出の支援
補装具（白杖・点字版など）の支給
日常生活用具の支給
視覚障害者を対象にした歩行訓練や日常生活訓練
- 全て障害者総合支援法に規定されたサービスで、
このサービスをうけるためには、介護保険サービスとの
併給が必要

併給制度の周知と適応の問題

- 障害者福祉サービスにあって、介護保険法におけるサービスではないサービス、例えば同行援護サービス・歩行訓練などの訓練・就労支援・補装具の給付などは、障害者福祉サービスで受けることが出来る（併給が可能）
- しかし、このことは、障害福祉の窓口、介護保険の窓口でもあまり知られていない。
- 3年ごとに担当者が移動すること
- 国や県から下りてくる補助金の額が違うなどの理由
- 同行援護がガイドするのと、ホームヘルパーが連れて行くのと何が違うのかの理解が得られていない
- 視覚リハに関する効果が信じられていなかったり、誤解されているなど

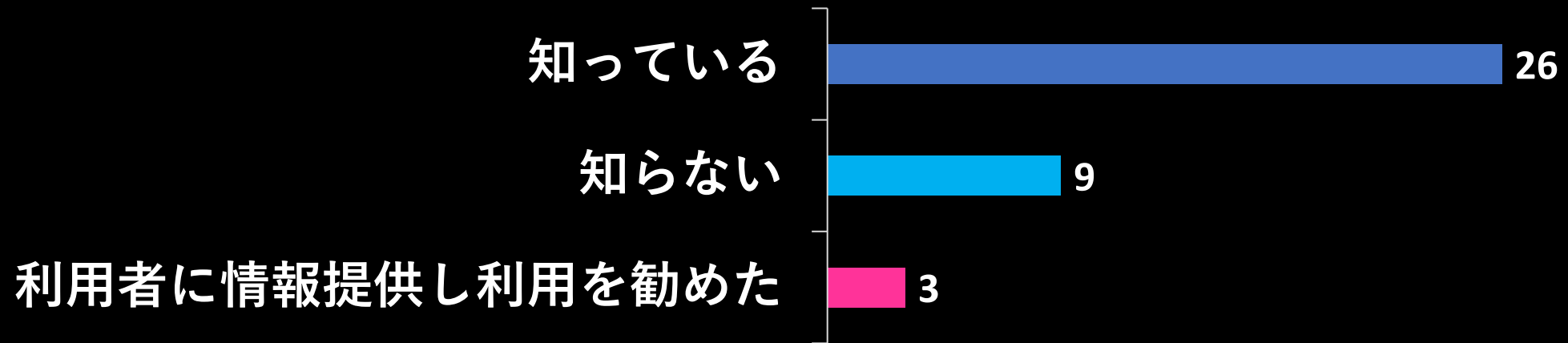
①～④は、視覚障害者が受けられるサービスについての設問です。当てはまるものに○を付けてください。

①同行援護で外出の支援が受けられる。



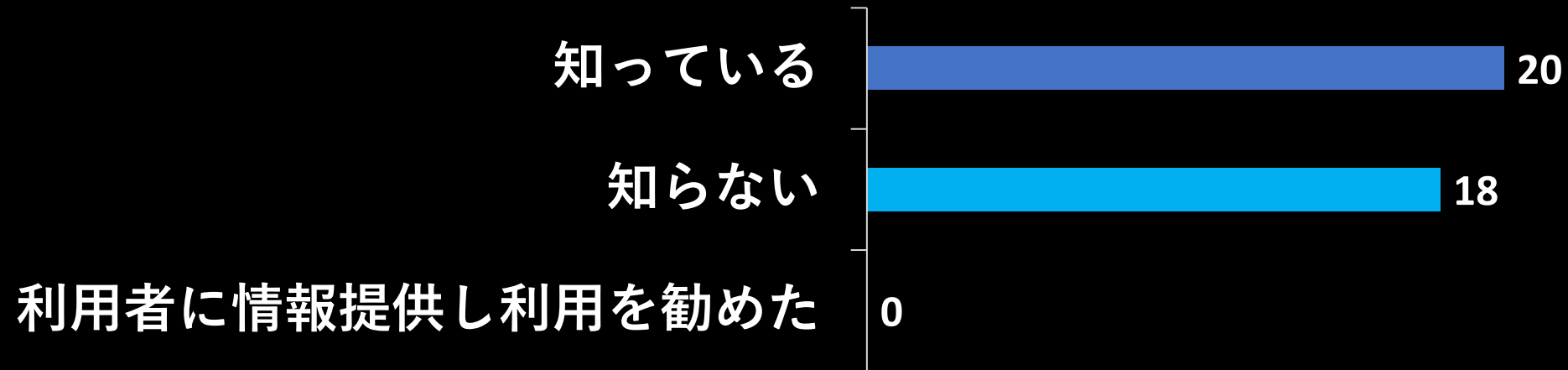
①～④は、視覚障害者が受けられるサービスについての設問です。当てはまるものに○を付けてください。

②補装具費の支給で白杖の支給を受けられる。



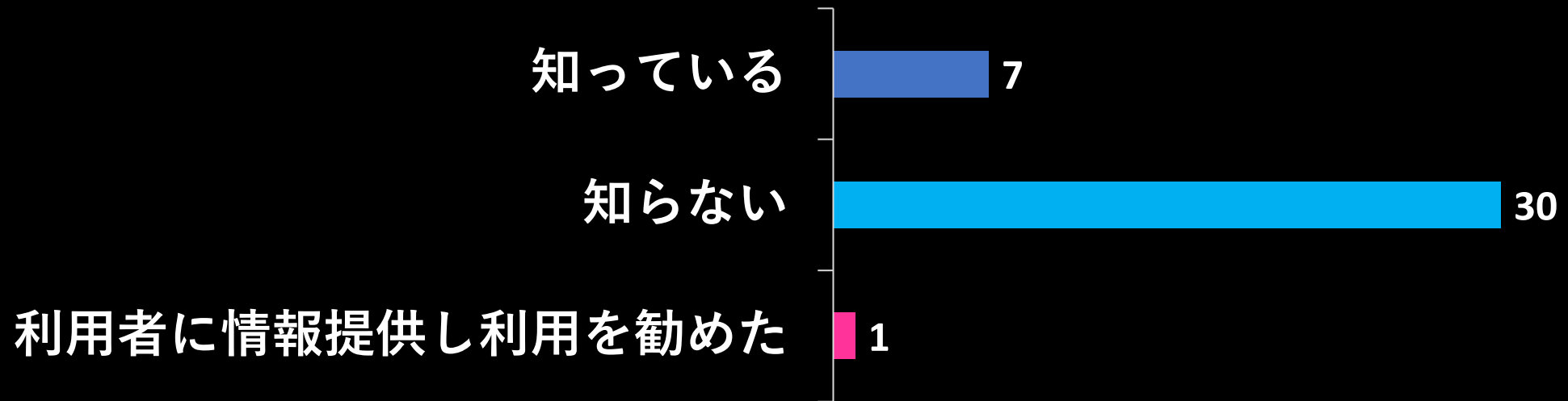
①～④は、視覚障害者が受けられるサービスについての設問です。当てはまるものに○を付けてください。

③日常生活用具で、重度視覚障害者には、音声読み上げ機能付きの時計の給付を受けられる。



①～④は、視覚障害者が受けられるサービスについての設問です。当てはまるものに○を付けてください。

④視覚障害者を対象にした歩行訓練や日常生活訓練などリハサービスがある。



高齢になってからの視覚障害者

- 「見えなくなったら何も出来ない」と思っている
- 年を取ると見えなくなるのは仕方がないという都市伝説が強い。
- 視覚障害に対応するサービスの存在を知らない。
特に視覚リハについてはほとんど知識がないことが多い
- 上記の状態では介護保険サービスだけ利用している方が多い。



- 視覚リハビリテーションの可能性とサービスが受けられることなどの情報を伝えることの重要性

提案

見えない・見えにくい利用者を担当した時、サービス担当者会議に視覚リハ専門家（歩行訓練士）をメンバーに入れる。



視覚リハの専門家である
歩行訓練士の意見を聞いて、
本人・家族・他の専門家が、
その意見に納得したら、
ケアプランの中に入れる。

第2回での質問に答えて

歩行訓練士に関して

- 1 歩行訓練士に依頼する時に、眼科医の指示書が必要か
眼科医の指示の元に動くシステムではないので必要ない。
直接施設に相談すれば良い
- 2 訓練等には、どのぐらいの頻度が必要か
本人の目的や能力によって違う。訓練指導員が評価して決める。
- 3 実際に歩行訓練士が関わった事例を知りたい
第2回の澤崎先生の事例なども参照のこと。

東京都で連携できる資源

- 東京都盲人福祉協会
- 東京都の補助金を受けて、相談・訓練事業を行っています。
- 訪問により歩行訓練と生活訓練、点字の指導、スマホなどの利用などの指導を行っています。
- 電話 03-3208-9001 訓練担当まで
- <https://www.normanet.ne.jp/~tomou/service/kunren.html>



見えない・見えにくい人との 関わり方について口頭説明を加えます。

- 中途視覚障害者のリハビリ意欲をどう引き出すかについて
→どんな小さなことでも良いが、自分でやったと言う自信を持ってもらうようにして下さい。「やってあげるのではなくて」
- 全盲の方で介護しようとしても拒否されるケースについて
→どんな介護をするのかについて、十分に情報提供が来ていますか。なにをされるのか分からないと不安です。
- 食べ物の味が分からないと言われたケースの対応
→どんな料理か、説明することが必要です。

見えない・見えにくい状態になっても
視覚リハ専門家を活用して
見えない・見えにくい高齢者に
楽しく生きがいのある生活を取り戻しましょう。
ご清聴ありがとうございました。

参考になる情報

東京都ロービジョンネットワーク

- 東京都眼科医会が主催して、眼科医療から必要な方に福祉や教育、職業訓練、視覚障害者用の補装具や機器の情報がパンフレットを手渡すことで得られるようにしたシステム
- (スマートサイト)
- 詳しい説明は
- http://www.tougan.org/care/care_index.html
- ロービジョン拠点医療機関の紹介
- 各種相談機関の紹介あり

スマートサイトリーフレット表

まずはご連絡ください！
代表窓口となる施設を
ご紹介いたします。

ひとりで悩まず、私たちと一緒に
考えていきませんか？

ちょっとした工夫で、あきらめ
ていたことが出来るようになる
かもしれません。

適切なケアやご相談を受けて
いただけるように、代表窓口
施設よりニーズに合わせた施設
をご案内いたします。



お問い合わせの際は、
「当リーフレットを見て連絡しました」
とお伝えください。

眼科医・視機能訓練士の皆様へ

「東京都ロービジョンケアネットワーク」
(スマートサイト)は見えにくい・見え
ないことでお困りの患者さまが視覚
リハビリテーション（適切な指導や
助言、訓練）を受けられるように
東京都内の施設をご紹介するシステム
です。

当リーフレットを、見えにくい・見えな
いことでお困りの患者さまにお渡し
ください。代表窓口施設が患者さまの
ニーズをお聞きして、その方にあった
適切な情報を提供いたします。

【連絡欄】 年 月 日

医院名：
住 所：
医師名：
備 考：

発行：公益社団法人 東京都眼科医会
URL：<http://www.tougan.org/>



東京都ロービジョンケアネットワーク

見えにくさを
感じている方へ

- ☐ 本や新聞が読みたい
- ☐ ショッピングがしたい
- ☐ 便利な日常用具が欲しい
- ☐ 仕事を続けたい・探したい
- ☐ 就学の進路相談をしたい
- ☐ まぶしさをどうにかしたい



スマートサイトリーフレット裏

◆◆ このページの代表窓口施設よりニーズに合わせた施設をご案内いたします。 ◆◆

生活訓練・支援

自立した生活に必要な単独歩行や点字、パソコン、さらには調理や裁縫など、日常生活の不自由を解消するための訓練をいたします。

代表窓口施設

東京視覚障害者生活
支援センター

03-3353-1277

<http://www.tils.gr.jp/>



教育機関

見え方に配慮した学校教育や資格取得に向けた職業教育、教育相談（0歳から）をいたします。
都内には、盲学校5校と弱視学級10校があります。

代表窓口施設

東京都立文京盲学校

03-3811-5714

<http://www.bunkyo-sb.metro.tokyo.jp/site/zen/>



就労支援

公共機関との連携により、視覚障害者の就労に役立つ支援ソフトと、パソコンなどの活用技能講習や情報提供、ジョブコーチ支援をいたします。

代表窓口施設

視覚障害者就労生涯学習
支援センター

03-6379-3888

<http://workstudy.sakura.ne.jp/>



視覚障害者団体

視覚障害者の豊かな生活と社会参加を目指し、視覚障害者全般の問題を解決するため、相談・生活訓練に対応いたします。
視覚障害の当事者への相談にも応じます。

代表窓口施設

東京都盲人福祉協会

03-3208-9001

<http://www.normanet.ne.jp/~tomou/>



用具の販売・図書の貸出

点字器や白杖はもちろん、調理器具・裁縫道具・ルーペ・拡大読書器など、日常生活のなかで、便利で使いやすい器具、補装具の紹介・販売、図書の貸出もいたします。

代表窓口施設

日本点字図書館 用具事業課

03-3209-0751

<http://www.nittento.or.jp/sale/>



眼鏡製作・販売

医療機関と連携して、見えにくさを補助する拡大鏡やロービジョンエイド、ハイパワー眼鏡などの紹介・販売、特殊眼鏡の作成を行います。

代表窓口施設

株式会社 朝倉メガネ

03-3357-2251

<http://www.asakuramegane.co.jp/>



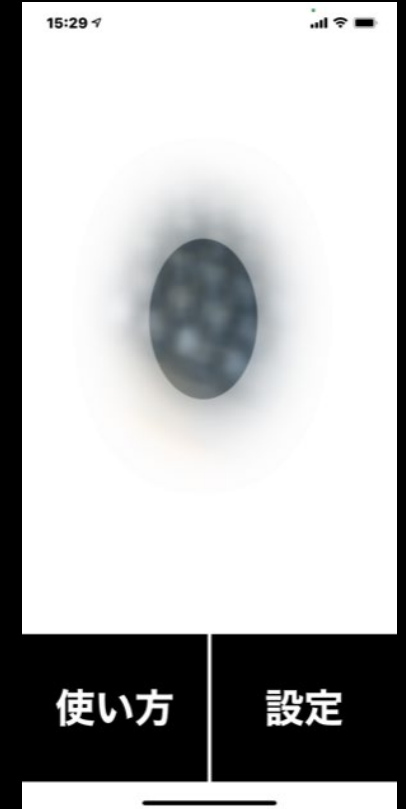
見えにくさの体験やイメージ作り

- 日本弱視者ネットワークの作成した
見え方紹介アプリ

https://jakushisha.net/miekata_apps.htm

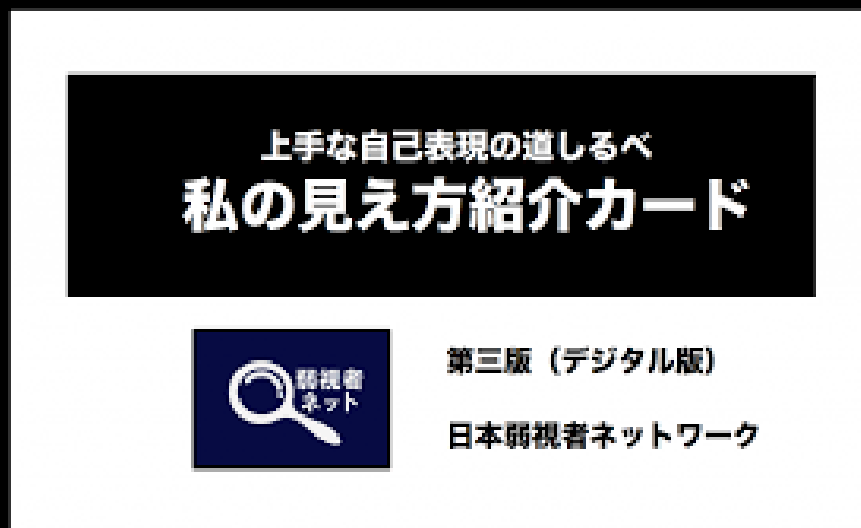


- 私の見え方紹介カード
無料でダウンロードでき、視野障害や羞明、
中心暗点などのイメージを作り、人に説明
する時に使えるアプリ



私見え方紹介カード

- 日本弱視者ネットワーク作成
- 私の見え方紹介カード(上手な自己表現の道しるべ)
- https://jakushisha.net/miekata_card.htm



見えにくさのアセスメントにも
使えます



目の見えない・見えにくい人をサポート するために知っておきたい情報サイト

一緒に歩こう
～目の不自由な人と
楽しく街を歩くために～



見えない・見えにくい 高齢者への理解と 安全なサポートガイド DVD「あるっく」



学習に使うことを話すと、
価格について相談に
乗ってくれます。活用し
てください。

日本初！待望のDVD

見えない・見えにくい高齢者への
理解と安全なサポートガイド

あるっく A LOOK

あるっく (A LOOK) とは、「歩きたい、見たい」というみんなの願いです



色々なシーンに合わせたサポート方法を動画でご覧いただけます



制作・著作

NPO法人 視覚障がい者支援協会・ひかりの森

ホームページ <http://npo-hikarinomori.com/>

メール: info@npo-hikarinomori.com

申し込み・問い合わせ tel&fax.048-962-9888



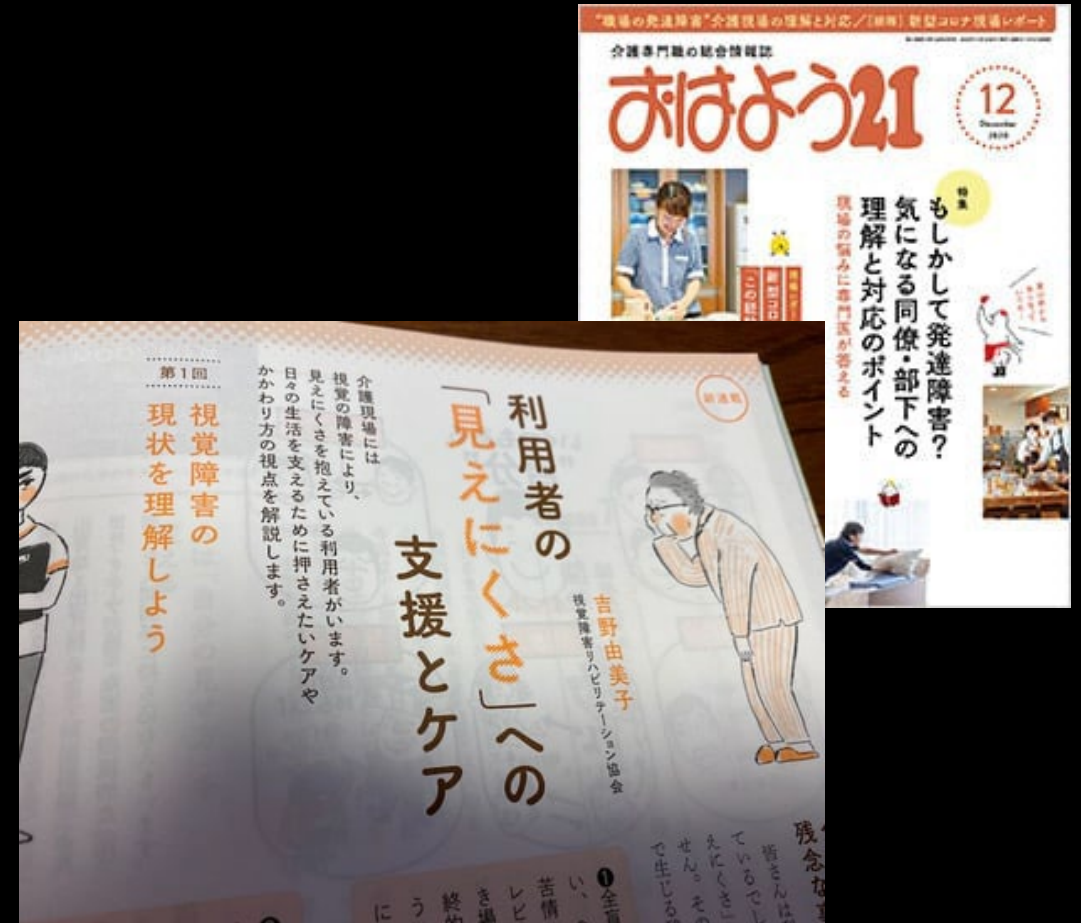
介護の専門誌「おはよう21」

中央法規出版の出している介護の専門誌
おはよう21の2020年12月号から2021年
4月号までの5回連載で「利用者の見えにく
さへの支援とケア」と題して私が書きました。

高齢視覚障害者のケアについて、分かり
やすく書きましたので、ご利用ください。

バックナンバーの購入

<https://www.chuohoki.co.jp/magazines/ohayou21/about/>



視覚障害者用の機器販売

トランプやオセロ・囲碁・将棋などを見えない・見えにくい人が楽しめる物も含めてあります

- 日本点字図書館わくわく用具ショップ

https://yougu.nittento.or.jp/user_page_catarog.html

- 日本ライトハウス情報文化センター

http://www.lighthouse.or.jp/iccb/shops/index_shops/how-to/

どちらも相談窓口あり。

見えない・見えにくい人に、
便利で使いやすい商品を扱っています。



新型コロナ対策：混雑を避けるためご来館の際は日時の事前予約をお願いいたします。



音声読み上げソフトをご使用の方は、[視覚障害者用商品カタログ](#)から商品をお選びください。
継続してお買い物をされる方は、[会員登録](#)をお勧めします。



新着情報 NEWS

[一覧表示](#)

- 2020/12/18 降雪による荷物のお届け遅延について NEW
- 2020/12/02 年末年始の休業と年内発送のお知らせ NEW
- 2020/11/06 Google ChromeとMicrosoft Edgeでクレジットカード決済をされるお客様へ
- 2020/10/30 PC-Talkerやネットリーダーでクレジットカード決済をされるお客様へ
- 2020/06/30 **【重要】** 混雑を避けるためご来館の際は日時の事前予約をお願いいたします...
- 2020/03/31 新型コロナウイルスの影響による各種機器体験会中止のお知らせ
- 2019/11/21 セイコー製ストップウォッチ付き音声腕時計（黒）のベルト不具合につきまして...



本日の発送日

12月16日ご注文分を
発送しています。

日本点字図書館チャリティコンサート

クアルテット・アルモニコ演奏会

2021年2月21日（日）

yougu.jp

日本盲人社会福祉施設協議会

商品カテゴリ

点字機器類



用紙類



ノート・リング類



白杖・歩行補助関連



私のブログ

「吉野由美子の考えていることとしていること」に
過去の講演などで公開の許可を得られたものを
掲載してあります。参考にしてください。



URL <https://yoshino-yumiko.net/>

何かご質問のある方は
メールでどうぞ

yumiko-yoshi @nyc.odn.ne.jp

私のフェイスブック
Yumiko yoshino

